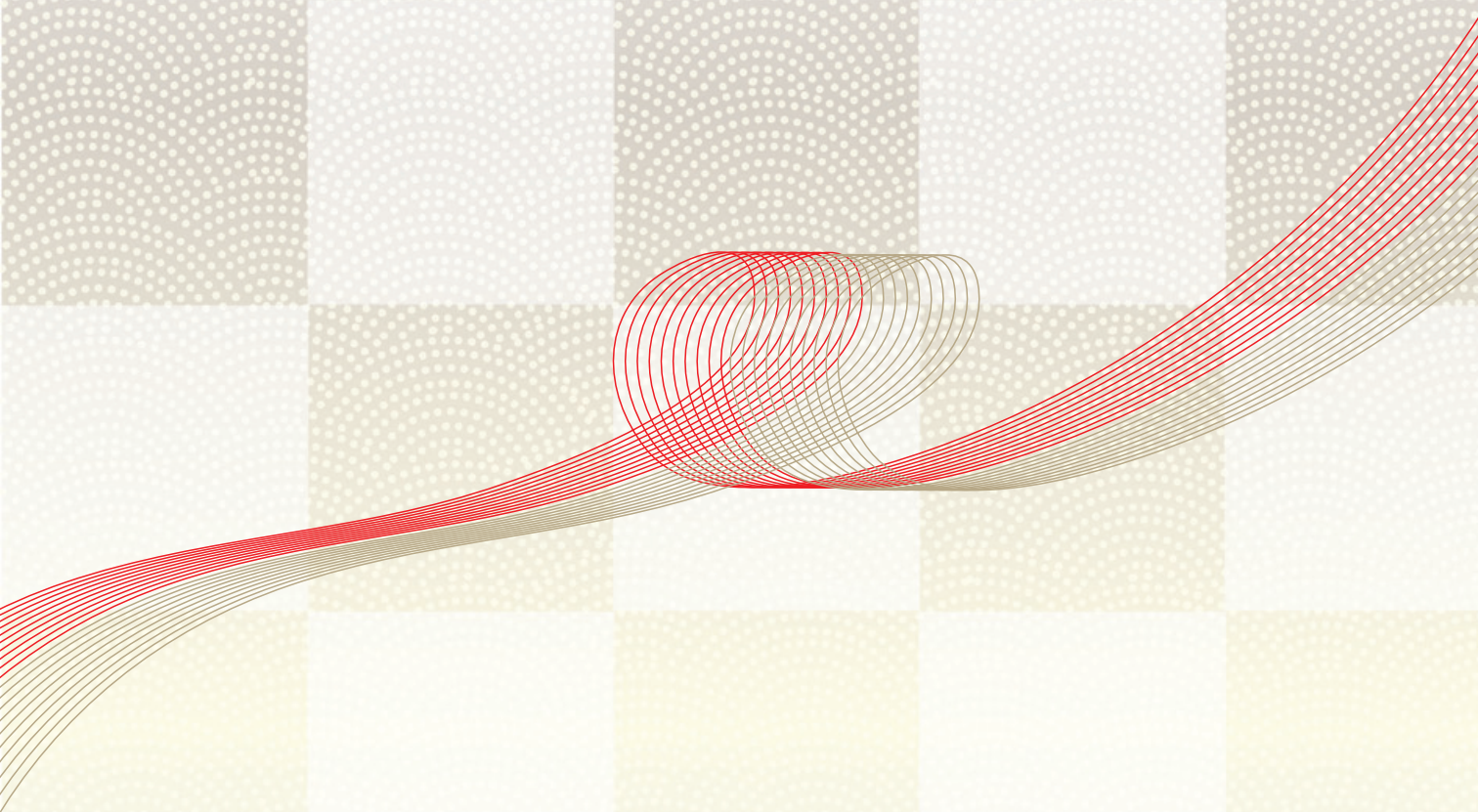


第104期 報告書

平成26年6月1日～平成27年5月31日



企業理念

当社グループは、『伝統、それは継続的な開拓の歴史である』との認識のもと、お客さまの満足や喜びを第一に考えた新しい付加価値を提案し、豊かな暮らしと文化に貢献してまいります。

私たちが生み出す付加価値は、伝統と革新の融合によって生まれます。故(ふる)きを温(たず)ね、新しきを知る——。温故知新の精神を具現し続けることで、お客さまに安心感を提供し、更なる高みを目指していくことが出来ると考えています。温故知新とは、小津グループが大切にしている企業理念を表す言葉です。

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

ここに第104期(平成26年6月1日～平成27年5月31日)報告書をお届けするにあたりまして、謹んでご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国経済は、政府、日本銀行による経済・金融政策の効果や円安の進行および原油価格の下落等により企業収益の改善が見られ、総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。国内景気につきましては、消費増税の影響による個人消費の減退傾向が長期化していましたが、雇用・賃金の改善を背景に緩やかに持ち直しつつあります。海外におきましては、中国経済の減速やユーロ圏経済の低成長が続くものの、米国経済の堅調な成長ペースに牽引されて総じて緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような経営環境のもと、当社グループといたしましては、引き続き「海外戦略の強化」、「新事業・新商品の創出」、「コンバーター機能の強化・拡充」、「グループ各社の連携強化」、「人材育成」という中長期的な経営戦略に基づき営業活動を展開してまいりました。

事業分野別の状況および今後の展望につきましては後述させていただいておりますので、ご参照くださいますようお願いいたします。

本年6月に経営体制を刷新し、私が小津グループの代表者となりました。新しい経営体制となることで、当社グループに新たな風を呼び込むことを目的としておりますが、360余年続く当社の伝統と「のれん」に込めた思いは今後も変わりなく、大切にしていきたいと思っております。

「のれん」はこれまで当社グループが長年築き上げてきた信用や信頼の証であると認識しております。この引き継いできた文化を守り、当社グループが370年、400年と続いていくように次の世代へと受け渡していくことが私に求められた使命であり、責務であると考えております。

今後も経営環境の変化に迅速に対応しつつ、中長期的な経営戦略に基づき、経営資源の配分最適化を行い、グループ各社の連携強化による効果を最大限に発揮し、企業価値向上に全力で邁進してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解をいただき、また従来と変わらぬご支援、ご指導を賜りますよう心からお願い申し上げます。

売上高 384億32百万円

経常利益 5億14百万円

営業利益 4億39百万円

当期純利益 5億6百万円

今枝 英治
(いまえだ えいじ)

昭和54年 当社入社
平成14年 執行役員
平成19年 取締役
平成26年 代表取締役副社長
平成27年 代表取締役社長
東京都出身 60歳



代表取締役社長 今枝英治

事業部門の状況

不織布事業

売上高 **136億65**百万円

エレクトロニクス分野では、スマートフォン、タブレット端末用途および電装化が進む自動車関連用途の電子部品・デバイス産業向けの販売が好調に推移したものの、デジタルカメラ、液晶テレビ用途の販売低迷等の影響を受け、ほぼ横ばいで推移いたしました。また、コスメティック分野では、前期に引き続き、中国市場向けの販売が伸長したことや国内市場も好調に推移したことから前期を上回りました。しかしながら、メディカル分野や(株)ディプロが担う日用雑貨分野では、円安の影響による原材料や資材

の値上げ、安価な輸入品との低価格競争等から収益が低迷いたしました。

今後につきましては、好調なデバイス産業向けや伸長している中国のコスメティック分野向けを中心に更なる事業の拡大を図るとともに、次世代の核となる新事業の創出や新商品の開発および東南アジア地域を中心とした海外事業の拡大にも力を注いでまいります。(株)ディプロにおいては機械設備への投資を予定しており、生産体制の一層の整備・増強を図ってまいります。

家庭紙・日用雑貨事業

売上高 **247億28**百万円

消費増税に伴う駆け込み需要があったものの、その後の反動による消費低迷の長期化により販売が伸び悩み、顧客である小売業界における再編や仕入先による取引制度変更の影響等もあり、売上高、利益面ともに前期を下回りました。

今後も消費者の節約意識や消費低迷による価格下落など依然として厳しい状況が続くものと思われませんが、引き続き物流の効率化を中心とした経費

圧縮に努めるとともに、グループ各社のシナジー効果を発揮して付加価値の高いオリジナル商品の開発や新たな販路開拓に取り組んでまいります。また、家庭紙等における原燃料コストの上昇を背景とした価格修正を浸透させつつ、既存取引の採算性を見直し、収益の改善に努めてまいります。

トピックス

東証第一部銘柄へ昇格

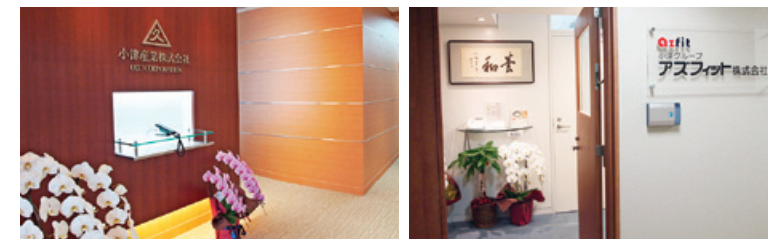
平成26年7月31日、東京証券取引所の承認をいただき、当社株式が東京証券取引所(以下、東証)市場第二部から同市場第一部銘柄へと昇格いたしました。平成8年2月に株式を店頭公開してから18年、平成13年6月に東証二部上場してから13年。かねてより準備はしていたものの、漸く審査基準を満たせるような業績、企業内容になりました。無事に審査を終え、市場第一部へ昇格できましたのも株主の皆様をはじめとする多くの方々のご支援・ご協力の賜物と心より感謝申し上げます。

東証での新規上場の際には、立合開始にも使われている鐘を5回鳴らします。この数は五穀豊穡を願う気持ちが込められています。小津グループがますます発展していくように努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い申し上げます。



本社ビル 免震・耐震工事終了

平成25年4月から始まった小津本館ビルおよび本栄ビルの免震・耐震工事が終了し、小津産業(株)、アズフィット(株)、日本プラントシーダー(株)、オツテクノ(株)の本社が日本橋に集結いたしました。震度6強の地震にも耐える建物にしたことで、有事の際の事業継続性を向上させるとともに、中長期的な経営戦略にも掲げる「小津グループ各社の連携による事業推進」の更なる効率化を図ってまいります。



小津産業(株)本社

アズフィット(株)本社

グループ会社の状況 (平成27年5月31日現在)



※1 子会社で非連結・持分法非適用会社 ※2 関連会社で持分法適用会社

クローズアップ

小津和紙 リニューアルオープン!

小津本館ビルの免震工事により、縮小営業していた「小津和紙」がリニューアルオープンいたしました。

1階は店舗と紙漉き場、2階は書道や水墨画、ちぎり絵など約80種の講座がある小津文化教室とギャラリー、3階は東京都中央区から有形文化財として保存指定を受けた古文書など、紙と会社の歴史を物語る史料と全国の和紙を展示しております。日本橋へお越しの際は、是非足をお運びください。

営業時間: 月～土 10時～18時 日曜定休
手漉き和紙体験や詳細については小津和紙 (Tel.03-3662-1184) までお問い合わせください。

※和紙事業は現在、その他の関係会社である株式会社小津商店が営んでおります。



株式の状況 / 会社概要 (平成27年5月31日現在)

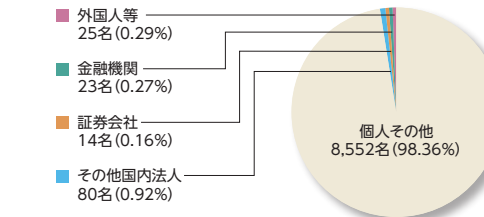
- ◆ 発行可能株式総数 25,000,000株
- ◆ 発行済株式の総数 8,435,225株
- ◆ 株主数 8,694名

◆ 大株主(上位10名)

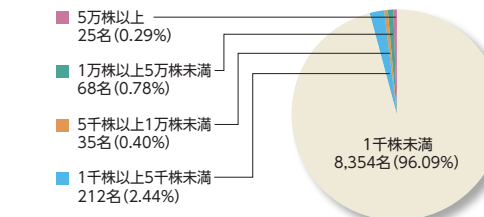
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社小津商店	2,546,776	30.45
小津取引先持株会	357,700	4.28
日本製紙株式会社	197,650	2.36
今井武一	169,821	2.03
小津産業従業員持株会	143,260	1.71
別府清一郎	137,790	1.65
旭化成せんい株式会社	117,700	1.41
株式会社みずほ銀行	117,000	1.40
株式会社三井住友銀行	110,000	1.32
日本製紙クレシア株式会社	96,300	1.15

(注) 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

◆ 株式の所有者別状況(株主数)

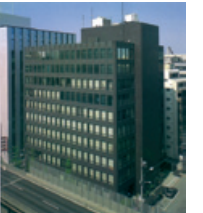


◆ 株式の所有数別状況(株主数)



- 創 業 1653年(承応2年)
- 設 立 1939年12月6日
- 資 本 金 13億2,221万円
- 従 業 員 数 85名

事業内容 不織布(エレクトロニクス用、
メディカル用、コスメティック用、
産業資材用)、洋紙・紙製品などの
国内販売・加工・輸出入



◆ 事業所

本 社 東京都中央区日本橋本町三丁目6番2号
〒103-8435 TEL 03-3661-9400(代表)
大阪支店

◆ 物流センター

埼玉物流センター

◆ 海外事業所

シンガポール支店/武漢事務所

役 員

平成27年8月27日現在

取 締 役 会 長	中 田 範 三
代表取締役社長	今 枝 英 治
代表取締役専務	河 田 邦 雄
常 務 取 締 役	山 本 行 高
常 務 取 締 役	稲 葉 敏 和
取 締 役	近 藤 聡
取 締 役	廣 瀬 恭 二
社 外 取 締 役	穴 田 信 次
社 外 取 締 役	山 下 俊 史
常 勤 監 査 役	大 家 孝 明
社 外 監 査 役	城 見 浩 一
社 外 監 査 役	松 田 繁

株主様情報

◆株主メモ

事業年度	毎年6月1日～翌年5月31日
剰余金の配当基準日	5月31日(中間配当を行う場合は11月30日)
定時株主総会	毎年8月下旬
単元株式数	100株
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号
特別口座管理機関	みずほ信託銀行株式会社
公告方法	電子公告(http://www.ozu.co.jp/) ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続きお取扱店(住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)	お取引の証券会社等になります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店 *トラストラウンジではお取扱いできませんのでご了承ください。
未払配当金の お支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続きお取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

株主優待制度のご案内

株主優待制度について

①株主優待の方法

毎年5月31日現在の株主名簿に記載された1単元(100株)以上保有の株主様に対し、以下の基準により贈呈いたします。

②優待内容

100株以上	クオカード 1,000円
200株以上	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー詰合せ 2,500円相当
500株以上	ティッシュペーパー、 トイレットペーパー詰合せ 5,000円相当



③贈呈時期

定時株主総会後に発送いたします。

株主の皆様のお声を聞かせください

当社では、株主の皆様のお声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 7487

いいかぶ

検索



空メールによりURL自動返信

kabu@wjim.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media(エー・ツー・メディア)の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
(株式会社 a2media)についての詳細<http://www.a2media.co.jp>
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問い合わせ TEL: 03-5777-3900(平日 10:00～17:30)
「e-株主リサーチ事務局」 MAIL: info@e-kabunushi.com